

2007年度 第3四半期 決算説明会

2008年1月30日

富士電機ホールディングス株式会社

2007年度第3四半期 連結決算概要(対前年同期)

	(予想値)		(単位:億円)
	2006年度 第3四半期 実績	2007年度 第3四半期 実績	
売上高	2,011	(2,160) 2,025	+14
営業利益	29	(0) -11	-41
経常利益	44	2	-42
特別損益	-9	-3	+5
当期純利益	28	(0) 4	-24
平均為替レート US\$	117.82円	113.19円	

コストダウン	+24
研究開発費減	+14
差益率差	+8
売上増	+4
資本費増	-32
価格ダウン	-17
コストアップ	-10
人件費増	-9
為替影響	-6
その他	-17

+50

-91

金融収支 -2

特別利益 -1
特別損失 -6

(予想値) (単位: 億円)

	2006年度 第3四半期 実績	(790)	2007年度 第3四半期 実績	増減
電機システム	767		713	-53
機器・制御	493	(500)	497	+3
電子デバイス	446	(530)	503	+56
リテイルシステム	348	(380)	362	+13
その他	110	(130)	134	+23
消去	-156	(-170)	-185	-29
合計	2,011	(2,160)	2,025	+14
電機システム	-17	(-25)	-29	-11
機器・制御	32	(30)	28	-4
電子デバイス	28	(10)	7	-20
リテイルシステム	-12	(-10)	-13	-1
その他	3	(0)	1	-1
消去又は全社	-4	(-5)	-5	-1
合計	29	(0)	-11	-41

【売上増減コメント】

電機システム

- ・売上は発電プラントの大口案件減少を主因として減少
- ・受注は民需を中心に好調

機器・制御

- ・器具は国内市場低迷により減少
- ・駆動制御は好調に推移

電子デバイス

- ・半導体は産業分野の増産により増加
- ・ディスク媒体はガラス媒体の増産により増加

リテイルシステム

- ・自販機・フード機器・通貨機器、コールドチェーン機器の増加

【営業利益増減コメント】

電機システム

- ・発電プラントは売上減少により悪化
- ・制御システムは一部案件の低採算影響により悪化

機器・制御

- ・器具は売上減少、素材価格高騰の影響により悪化

電子デバイス

- ・ディスク媒体は設備投資に伴う資本費増により悪化
- ・半導体は売上増加により改善

リテイルシステム

- ・コールドチェーン機器は営業体制強化に伴う経費増により悪化

2007年度第3四半期 9ヶ月累計概況(対前年同期)

(単位:億円)

	2006年度 第3四半期 (9ヶ月累計)	2007年度 第3四半期 (9ヶ月累計)	増 減
売 上 高	6,021	6,022	+0
営 業 利 益	97	-5	-103
経 常 利 益	121	16	-104
特 別 損 益	-32	-21	+11
当 期 純 利 益	65	-5	-70

(単位:億円)

	2006年度 第3四半期 (9ヶ月累計)	2007年度 第3四半期 (9ヶ月累計)	増 減
電 機 シ ス テ ム	2,258	2,193	-64
機 器 ・ 制 御	1,440	1,433	-6
電 子 デ バ イ ス	1,365	1,371	+5
リ テ イ ル シ ス テ ム	1,092	1,165	+72
そ の 他	363	434	+71
消 去	-498	-575	-77
合 計	6,021	6,022	+0
電 機 シ ス テ ム	-103	-104	-1
機 器 ・ 制 御	80	72	-8
電 子 デ バ イ ス	122	33	-88
リ テ イ ル シ ス テ ム	-3	-4	-0
そ の 他	12	11	-0
消 去 又 は 全 社	-10	-14	-4
合 計	97	-5	-103

2007年度第4四半期 連結業績予想(対前年同期)

(単位:億円)

	2006年度 第4四半期 実績	2007年度 第4四半期 予想	増減
売上高	3,059	3,427	+368
営業利益	364	370	+6
経常利益	366	323	-43
当期純利益	166	175	+9

(単位:億円)

	2006年度 第4四半期 実績	2007年度 第4四半期 予想	増減
電機システム	1,760	1,976	+216
機器・制御	498	536	+37
電子デバイス	458	558	+100
リテイルシステム	432	434	+1
その他	291	205	-86
消去	-383	-284	+99
合計	3,059	3,427	+368

電機システム	225	229	+4
機器・制御	35	37	+2
電子デバイス	70	61	-8
リテイルシステム	28	39	+10
その他	8	8	-0
消去又は全社	-3	-5	-2
合計	364	370	+6

※第4四半期の前提為替レート:110円/1USDル
 第4四半期の為替1円影響 営業損益ベース:1億円/USDル

2007年度通期 連結業績予想(対前年)

(単位: 億円)

	2006年度 実績	2007年度 今回予想 (08/1/29)	増減
売上高	9,080	9,450	+370
営業利益率	5.1%	3.9%	
営業利益	462	365	-97
経常利益	487	340	-147
当期純利益	231	170	-61
平均為替レート US\$	117.02円	115.46円	

コストダウン +130
 売上増 +79
 差益率差 +14
 資本費増 -115
 価格ダウン -110
 コストアップ -33
 人件費増 -31
 為替影響 -5
 研究開発費増 -3
 その他 -23

+223

-320

為替影響 -11
 金融収支 -14
 持分法投資損益+4
 その他 -29

※第4四半期の前提為替レート: 110円/1USDル

第4四半期の為替1円影響 営業損益ベース: 1億円/USDル

(単位:億円)

		2006年度 実績	2007年度 今回予想 (08/1/29)	増減
売上高	電機システム	4,018	4,170	+152
	機器・制御	1,939	1,970	+31
	電子デバイス	1,823	1,930	+107
	リテイルシステム	1,525	1,600	+75
	その他	655	640	-15
	消去	-881	-860	+21
	合計	9,080	9,450	+370
営業利益	電機システム	121	125	+4
	機器・制御	115	110	-5
	電子デバイス	192	95	-97
	リテイルシステム	25	35	+10
	その他	21	20	-1
	消去又は全社	-13	-20	-7
	合計	462	365	-97

【売上増減コメント】

電機システム

- ・売上は発電プラントの大口案件減少があるものの、電機プラント、制御システムを中心に増加
- ・受注は民需を中心に増加

機器・制御

- ・器具の減少
- ・駆動制御の増加

電子デバイス

- ・半導体は産業分野の増産により増加
- ・ディスク媒体はガラス媒体の増産により増加

リテイルシステム

- ・自販機・フード機器・通貨機器、コールドチェーン機器の増加

【営業損益増減コメント】

電機システム

- ・電機プラントの改善
- ・制御システム、環境システムの悪化

機器・制御

- ・器具の悪化
- ・駆動制御の改善

電子デバイス

- ・ディスク媒体の大幅悪化
- ・半導体、画像デバイスの改善

リテイルシステム

- ・自販機・フード機器・通貨機器の改善

2007年度通期 連結業績予想(対前回予想)

(単位:億円)

	2007年度 前回予想 (07/10/30)	2007年度 今回予想 (08/1/29)	対予想 増減	2006年度 実績
売上高	9,600	9,450	-150	9,080
営業利益率	3.8%	3.9%		5.1%
営業利益	365	365	0	462
経常利益	340	340	0	487
当期純利益	170	170	0	231
平均為替レート US\$	114.66円	115.46円		117.02円

成長分野の売上高と構成比

(単位:億円)

	06年度 実績	07年度予想		08年度 中期計画
		4月発表	今回発表	
成長分野の 売上高	2,525	2,910	2,690	3,370
売上全体に 占める割合	27.8%	30.3%	28.5%	33.7%

※第4四半期の前提為替レート:110円/1USDル
第4四半期の為替1円影響 営業損益ベース:1億円/USDル

※成長分野…駆動制御、半導体、ディスク媒体

(単位:億円)

		2007年度 前回予想 (07/10/30)	2007年度 今回予想 (08/1/29)	増 減
売 上 高	電機システム	4,200	4,170	-30
	機器・制御	1,970	1,970	0
	電子デバイス	2,000	1,930	-70
	リテイルシステム	1,630	1,600	-30
	その他	640	640	0
	消 去	-840	-860	-20
	合 計	9,600	9,450	-150
営 業 損 益	電機システム	125	125	0
	機器・制御	110	110	0
	電子デバイス	95	95	0
	リテイルシステム	35	35	0
	その他	20	20	0
	消去又は全社	-20	-20	0
	合 計	365	365	0

【売上高コメント】

電機システム

- ・制御システムの増加
- ・環境システムの減少
- ・電機プラントの減少

機器・制御

- ・前回予想通り

電子デバイス

- ・半導体の減少
(情報・電源、産業分野の減少)
- ・ディスク媒体の減少

リテイルシステム

- ・自販機・フード機器・通貨機器の減少
- ・コールドチェーン機器の減少

※営業損益は前回予想通り

1. 本資料および本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。